

盛夏を彩る伝統と革新の魅力あふれる 新潟まつりへ向け始動

~2019年第1回新潟まつり全体会議(福田勝之新潟まつり実行委員長)~
4月24日(出席者87名)

新潟まつり実行委員長の当所福田会頭は、開会にあたり、「令和元年の新潟まつりを存分に楽しんでいただきため、本日の全体会議を通じて、情報の共有化とともに連携体制も深めていただきたいと存じます。皆様からのご支援・ご協力お願い申し上げます」と挨拶しました。続いて、各行事の担当者から実施に関する計画や方針について報告がありました。今年の新潟まつりの実施日程は、8/9(金)、10(土)、11(日・祝)です。

主な報告内容は次の通りです。

花火大会

- ・8/11(日・祝)19:15~20:55(100分間) 1日のみの打上げ(荒天の場合、翌日に延期)。
- ・これまでの有料指定席のあった右岸側は、立入禁止エリアとする。
- ・有料指定席は陸上競技場に移転し、市民協賛席は廃止する。

大民謡流し

- ・8/9(金)19:00~20:30まで粧谷小路~萬代橋~万代橋通り~東大通り、万代町通りで実施。

キラキラパレード・お祭り広場

- ・キラキラパレードは8/10(土)の午前、粧谷小路からメディアシップ前までを計画。
- ・お祭り広場は8/10(土)、8/11(日)に万代シティで開催予定。

※新潟まつりご協賛については、P.12インフォメーションに掲載しております。ご協力をお願いいたします。

古町の未来を考えるシンポジウム

~新潟古町まちづくり株式会社共催~
3月24日(参加者90名)

シンポジウム「古町・新潟ふるまち 消滅? 再生? シンポジウム 歴史×商店街×花街」を開催しました。

新潟市学芸員の長谷川伸氏と新潟大学工学部の岡崎篤行教授による講演のあと、両氏に古町芸妓のあやめさん、新潟中心商店街協同組合の前川周作理事長を加えてパネルディスカッションを行いました。あやめさんは、現役の古町芸妓として、長く受け継がれてきた文化や伝統を守り伝えていくことの大切さを訴え、前川氏は古町が大きな転換期を迎える中、商店街自身も商業だけに止まらない、このまち全体の魅力を発信していくべきとの考えを語り、古町の資産や魅力について再確認するとともに、今後のまちの在り方について、一つの方向性を示唆しました。



	8月9日(金)	8月10日(土)	8月11日(日・祝)		
昼		住吉行列 新潟キラキラパレード お祭り広場 水上みこし 渡御 手づくり子どもみこし	10:00~ 10:00~17:00 12:40~ 13:30~	住吉行列 お祭り広場	10:00~ 10:00~16:00
夜	大民謡流し	19:00~20:30	市民みこし (夕方)	16:00~	花火大会

「まちのベンチ」を考えるセミナー

~まちづくり委員会(阿部正喜委員長)~
3月19日(出席者31名)

まちづくり委員会の「ユニバーサルデザインを活用したまちづくり分科会」が中心となり、まちづくりにおけるベンチの役割や効用、可能性などについて研究するため、セミナーを開催しました。

日本ベンチ協会“シェアマン”の面木つよし氏を講師に迎え、「WHAT IS BENCH」と題して講演を行いました。面木氏は、ベンチの様々なメリットに触れながら、「新潟を世界基準のBENCH CITYに!」と呼びかけました。



第6回華つなぐ道

古町芸妓が磨いた腕前を披露

~古町芸妓育成支援協議会(行形和滋会長)~
3月29日(参加者310名)

古町芸妓育成支援協議会(事務局:当所)は、第6回成果発表会「華つなぐ道」を新潟市民芸術文化会館能楽堂で開催しました。同協議会は、三味線・太鼓・笛・唄などの伎芸を伝承し、古町花街の基盤強化と新潟の魅力発信等に繋げることを目的に活動しています。

当日は、公募によって招待された市民や関係者など合わせて約310名が来場し、普段とは違う稽古着姿の古町芸妓18名による演奏や踊りを観覧しました。



社会人の基本を習得

～新入社員セミナー～
4月4日（出席者82名）

ビジネスマナーや社会人としてのあり方をMCC代表の講師加藤弘美氏が講義し、新入社員として求められる基本スキルの指導を行いました。

受講者は名刺交換や挨拶の仕方を学び、ビジネスに必要な基礎能力を身に付けました。加えて、自己表現を上手にするための演習を行い、ビジネスにおけるコミュニケーション能力の重要性を確認しました。

受講者からは、「社会人としての基礎を知ることができた」「ビジネスマナーの大切さを学ぶことができた」などの感想が寄せられました。



春爛漫を体感！信濃川お花見クルーズ

4月12日（参加者38名）

信濃川ウォーターシャトルのベアトリス号に乗船し、昼食をはさんで約2時間にわたり、信濃川両岸に咲く桜を観賞しました。本事業は、"みなとまち新潟"の魅力を再認識してもらうとともに、会員間の交流促進を図ることを目的に、平成27年度から実施しています。

桜は当日満開となり、好天に恵まれたことから、最高のお花見日和となりました。途中下船したみなどり付近では桜の木々に加え、旧税関庁舎などのフォトスポットがたくさんあり、参加者は思い思いのアングルで撮影していました。



税制改正等要望について意見交換

～企業経営委員会（佐藤紳文委員長）～
4月19日（出席者12名）

はじめに、令和2年度の税制改正要望に向けて4月上旬に実施した、税制改正および中小企業政策に関するアンケート結果について、事務局から報告を行いました。税制改正については、取引相場のない株式の評価方法の見直しや、インボイス制度の導入廃止、また中小企業政策では、人手不足対策や生産性向上への支援を要望する回答が多く寄せられました。

その後の意見交換では、「簡素でわかりやすい税制とすべき」、「10年後の日本の将来像を見据えた税制・中小企業政策を検討すべき」などの意見が出されました。

今後は、地域経済の現状を踏まえつつ、中小企業・小規模事業者の成長・発展につながる要望内容となるよう議論を深めていく予定です。

消費税軽減税率制度説明会

～新潟税務署主催（当所共催）～
4月12日（出席者579名）

10月1日から実施される消費税の軽減税率制度について、関東信越国税局の加藤消費税課長補佐より説明を受けました。

加藤氏は、区分記載請求書等保存方式による帳簿・請求書の記載方法や軽減税率制度対象品目の判断の仕方など、多くの事業者で必要となる具体的な対応策や、2023年から導入予定の適格請求書等保存方式（インボイス制度）の概要について解説しました。

また、複数税率に対応するレジシステムやキャッシュレス決済端末の導入に対する補助金制度などについて説明がなされました。



アート・ミックス・ジャパン2019

～アートミックスジャパン実行委員会（福田勝之会長）～
4月13日～14日（来場者20,302名）

新潟市民芸術文化会館や燕喜館等を会場に、24のメイン公演に加え、様々な無料公演が開催され、過去最高の来場者数となりました。両日とも天候に恵まれ、新潟港に寄港した大型クルーズ船の外国人観光客やお花見に来た方で会場周辺は賑わいました。

また女性会（田中久美子会長）では、能楽堂で人間国宝の奥村旭翠氏による筑前琵琶の演奏を鑑賞した後、奥村氏とのアフタートークを開催し交流を深めました（参加者20名）。



交流人口拡大のためのハード・ソフト整備に関する提言

～まちづくり委員会（阿部正喜委員長）～
4月26日

まちづくり委員会は、「交流人口拡大のための拠点性向上に資するハード・ソフト両面整備に関する提言書」を新潟市に提出しました。

同提言書では、新潟駅周辺整備事業を契機として、観光・おもてなし拠点を整備していくこと、また、官民挙げて観光振興に取り組む仕組みづくりを行っていくことを提言しており、当日は、正副委員長から荒井副市長に提言書を手渡し、意見交換を行いました。

なお、提言書本文は当所HPに掲載しています。

